

1 本年度の重点目標

- ①基礎的な学力の定着と主体的に学習する力が身につくよう支援する。
- ②主体的な進路選択と進路目標が達成できるよう支援する。
- ③学業と部活動との両立を支援する。
- ④生徒の規律ある学校生活を支援する。
- ⑤信頼される学校づくりを推進する。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業と家庭学習の定着指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各教員がそれぞれに工夫した授業を展開し、また上位者・下位者それぞれへのきめ細かい指導を行った結果、一定の効果が得られた。学校公開や指導主事訪問、校内授業研究会などの授業研究の機会を継続し、相互に授業を見合い意見交換を活発に行うなど授業力の向上に努める。 ○学習上の悩み等を面談などを通して聴き取り丁寧に指導する。また、テストの結果や学力状況調査などを綿密に分析し、苦手教科等の克服法を適切に指導する。 ○授業・HR・集会等で予習・復習など自主学習の必要性を訴え、家庭学習の習慣化と学問の魅力を伝える工夫をする。 	B	A
学校関係者評価委員会における意見		<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりがそれぞれ分かる授業を行うのは難しいと思う。永遠の課題といえる。詰め込み式で教えても効果的であるとはいえないだろう。生徒それぞれ特性が違うので工夫をこらし生徒の意欲を引き出してほしい。追指導は重要、根気強く教えてもらいたい。 ○学ぶ意欲を引き出す授業を考え実践しているにもかかわらず家庭学習が定着しないのは、家庭内の意識の違いもあるのではないかと。 ○家庭学習を充実させるには、個々の生徒に目標を持たせることが必要と思われる。 			
生徒指導	① 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会が中心となり毎朝校門前で挨拶運動を行っている。挨拶はできるようになったが声小さくしっかりした挨拶ではない。レベルの高い挨拶を身に付けさせるよう根気強く指導していく。 ○服装頭髪指導では女子スカート丈、男子髭や髪型の違反への指導を徹底する等全職員共通意識を持ち指導していく。また、生徒一人一人に自らの行動について考えさせ、お互いに話し合わせるなど自主的に規範意識を高めさせる指導を工夫する。 	A	B
	② 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制	A	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーや心のケア支援員、特別支援地域コーディネーターと連携を図り情報を共有し、組織的な指導体制が整ってきた。継続的な連携を進めていきたい。 ○保護者の認知度が低く、必要な相談が実現できないこともある。様々なケースをPTAの会議等で積極的に紹介し、活用を促していきたい。 	B	B
	③ 生徒会活動が活発	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各委員会それぞれが積極的に行事に取り組み責任を持って活動したが、昨年同様、生徒総会では積極的に自分の意見や全体の考えを伝えることができなかった。生徒会を中心に活発な意見交換を行える雰囲気作りと活動のアピールに努める。 	A	A
	④ いじめの早期発見	A	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査を毎月実施し、いじめや生徒が感じている不安の早期発見に努めた。職員も情報を共有し、日々の教育活動の中で生徒を注意深く観察するなど努力を続けている。しかし、生徒・保護者共に評価が低い。きめ細かく面談を行うことにより相談しやすい環境を作るなど早期発見・防止に向け注意を怠らず取り組んでいく。 	A	B

学校関係者評価委員会における意見		○押しつけではなく、生徒自らが基本的な生活習慣の確立ができるよう教員の声かけの工夫をお願いしたい。○課題を抱え悩んでいながらもSC等に相談できない生徒については、学校だけで抱え込むのではなく中学校や専門機関と連携を密にし、情報を共有して対応にあたってほしい。相談を受けやすい体制作りの構築を図ってもらいたい。教師が生徒の中に入って相談する側が相談しやすい雰囲気や信頼関係を築いてほしい。○生徒会が中心となり中新田高校の良き伝統の構築をお願いしたい。			
進路指導	① 進路目標の明確化に向けた適切な指導	A	○「キャリアプラン」や進路行事(出前講座等各種講座・セミナー)は生徒の職業観・勤労観・学問観を形成する上で有効であった。しかし、生徒自身で進む方向を見つけられない場面もあり、教員や保護者のサポートが重要である。教員・保護者への情報発信等を工夫していく。○就職は、好調であった。今後も継続できるよう今年度の指導を振り返り工夫していく。進学は一般入試に対応できる学力向上を目指した具体的な指導及び必要な選択科目の開講に向けた検討を継続する。また、タイムリーな情報提供を工夫する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		○進路行事の開催、保護者との面談、教員のサポート、進路情報の発信、就職模擬面接など中味の充実した指導を今後も続けていただきたい。自分の現状をしっかり把握させ、具体的な目標を持たせてほしい。各種講座、模擬面接等は大変有意義である。今後も継続してほしい。○面接や小論文指導など計画性を持ち早い時期からの指導を工夫してほしい。面接指導の在り方を見直し、より有効な就職指導を目指してほしい。また、出前講座、セミナー等の有効性を期待する。			
地域との連携	① 特色ある学校づくりの展開	A	○中新田地区にぎわいづくり委員会や加美町商工観光課、協働のまちづくり推進課の協力を得、地域と連携して活動が実現できた。生徒会や校内組織を強固にし、さらに発展させることができるよう工夫したい。学校設定科目「キャリアプラン」で『加美町研究』を行ってきた。手探りの活動で計画通り進めることができず深まりに欠けた。今年度の反省を生かし、学びを深められるよう努めていく。	A	A
	② 防災教育の推進	A	○加美消防署に協力いただき充実した避難訓練が実施できた。特に後期は火災に関するDVDを視聴し、防災意識を高めることができた。ミサイルへの対応も加わり避難形態が複雑になっている。様々な災害に迅速に対応できるよう意識付けしていきたい。加美町との防災協定を結び避難所設置の準備も進んできた。今後も地域と連携を密にし、安心安全な学校づくりを目指していきたい。	A	A
	③ 開かれた学校づくりの取り組み	A	○できるだけタイムリーに情報発信ができるよう「ホームページ」更新の校内体制を改めた。また、一斉メール配信もこまめに行ってきた。ある程度の評価は得ているが十分ではない。「中高だより」の充実など今後さらに工夫していきたい。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		○地域との連携指導が実現できたということは大きな前進だと思います。ますますの活動を期待します。○今後も訓練を充実させると共に地域との連携を大切にしてほしい。○様々な場面を想定した防災訓練を実施し意識を高めさせてほしい。大規模災害が発生した時に地域の一人として貢献できる生徒の育成に努めてほしい。○学校からの情報発信をさらに進めていただきたい。			

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① キャリア教育の更なる充実	今年度の取り組みをさらに発展させ、来年度は「志教育」推進事業・魅力ある学校づくり支援事業指定校に応募し、生徒が意欲的に「加美町研究」等に取り組むことを通し、コミュニケーション力・思考力・判断力を養っていく。望ましい勤労観や職業観を身に付け地域の発展に貢献する人材を育成する。
② 家庭学習（自学自習）の定着	システム手帳を使用し、生徒に家庭での学習時間の確保を意識付けさせる。学習意欲をかき立てる具体的な取り組みを各教科で工夫する。また、保護者にも協力が得られるよう研修会や懇談会等を増やし共通認識を持つ。